

分離;混合

以下に示す注は、分類表のこの部分での使用を助ける;これらは、いかなる場合にも修正して読むべきでない。

(1) このサブセクションにおいて、異なる材料, 例. 異なる物質, 大きさ, または状態, に関する分離は次のサブクラスに優先的に分類される:

B01D

B03B, B03C, B03D

B04B, B04C

B07B, B07C

(2) これらのサブクラスの分類上の特徴は、以下のごとくである:

- (i) 分離されるべき物質の物理的状态
- (ii) 採用される方法の原理
- (iii) 特別な種類の装置

これらの特徴の第 1 番目のものは、3 つのグループに集められる 6 つの異なった観点を含んでいる。

- (a) 液体—液体または液体—気体および気体—気体
- (b) 固体—液体または固体—気体
- (c) 固体—固体

(3) これらのサブクラスは、以下の一般的規則に従って用いられる:

—B01D は、固体—固体以外での分離が関係するかぎり最も一般的なサブクラスとなる。

—固体から固体を分離する装置は、たとえその装置が空気力のもの、特に風力テーブルまたは風力ジグ、であってもその関係する工程が鉱山技術の意味で“洗鉱”に相当するものとみなされる場合は B03B に包含される。ふるいそれ自体はこのサブクラスには包含されず、たとえそれが湿式法に用いられても、B07B に分類される。乾式法による固体から固体を分離するすべての他の装置は B07B に分類される。

—もし、分離が、選別されるべき材料または物品のある特性を検出または測定した結果として起こるならば、それは B07C に分類される。

—また、同位元素の分離は、どのような方法または装置が用いられようとも、B01D59/00 に分類することに注意すべきである。

物理的または化学的方法または装置

一般

沸騰;沸騰装置

- 1/00 沸騰;物理的または化学的目的のための沸騰装置[2006. 01]
- 1/02 ・発泡防止[2006. 01]
- 1/04 ・化学的手段によるもの
- 1/06 ・突沸防止
- 1/08 ・還流凝縮器つき沸騰装置